

# 本日の論点

## (総論)

### ○目指すべき今後の都市再生の方向性について

- i 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした様々な環境変化に対して、今後ウイズコロナ・アフターコロナ時代の都市再生はどのように対応していくべきか。
- ii 都市における社会経済活動、都市再生の効果を把握・検証するにあたり、新たに考慮すべき観点はあるか。

## (各論)

### ① 今後の都市再生に求められる役割

- i 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、都市再生に求められる役割は今後どのように変化していくと考えられるか。
- ii 今後の都市再生においても人や機能を集積していくことは重要であると考えるが、テレワークの普及や地方移住への関心の高まり、新たな働き方、住まい方、生き方を踏まえると、都市に必要となる機能や役割、施設・設備は変化していくのではないか。

本日まで議論いただきたいこと

### ② 都市ごとの役割や連携方法を踏まえた都市再生

- i 大都市、地方都市、郊外都市などのそれぞれの役割に応じて必要となる都市機能はどのようなものが主流となっていくか。またそれらの機能を各都市に持たせるにあたっての課題はあるか。
- ii リニア中央新幹線や高速道路など高速交通体系の一層の進展により、都市間の時間的距離がさらに縮まることで、地方での雇用や居住ニーズが増えると考えられるが、その際に地方都市に必要となる都市機能は今後変化するか。

### ③ 未来技術を取り入れた都市再生

- i 自動運転や自動配送などの未来技術が普及することで、都市再生を検討する際に考慮すべき事項に変化が生じるのではないか。
- ii 未来技術が普及することで、都市再生に求められる役割が変化していくのではないか。

## (各論②) 都市ごとの役割や連携方法を踏まえた都市再生

- i 大都市、地方都市、郊外都市などのそれぞれの役割に応じて必要となる都市機能はどのようなものが主流となっていくか。またそれらの機能を各都市に持たせるにあたっての課題はあるか。

👉 働き方、住まい方、生き方などに対するニーズが変化していくなかで、各都市の特性を活かしながら、どのような機能を強化していくべきか？また、ニーズの変化に柔軟に対応するために必要となる取組はどのようなものが考えられるか？

👉 これらの機能強化を目指し、国としてどのような制度や支援の拡充に取り組んでいくことが必要か？

## (各論②) 都市ごとの役割や連携方法を踏まえた都市再生

- ii リニア中央新幹線や高速道路など高速交通体系の一層の進展により、都市間の時間的距離がさらに縮まることで、地方での雇用や居住ニーズが増えると考えられるが、その際に地方都市に必要な都市機能は今後変化するか。

- ☞ リニア中央新幹線や高速道路など高速交通体系の進展に伴うメリットを効果的に活かすためには、どのようなまちづくりを目指すべきか？
  
- ☞ 働き方や住まい方の変化により二地域居住の可能性拡大など、今後広域的な移動やその頻度の増大を踏まえ、どのようにまちづくりを考えるべきか？